

香港株式市場フラッシュ

香港ドル発券銀行～英国の金融引締めへの追い風は続くか？

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

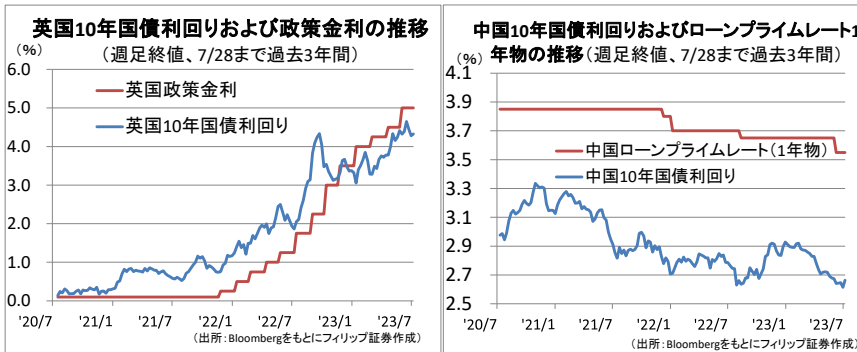
フィリップ証券株式会社

2023年8月2日号(8月2日作成)

”政策金利引上げと金融引き締めの英国、金融緩和の中国“

中国人民銀行は政策金利で新規貸出金利の指標となるローンプライムレートの引き下げなど通じた金融緩和を鮮明化している。不動産不況、および消費者物価指数(CPI)上昇率0%近辺の「デフレ懸念」の一方、為替の人民元安につながる懸念にも配慮するなど難しい舵取りを迫られている。7日発表の外貨準備高、および9-15日の間に発表の7月の資金調達総額・マネーサプライ等の動向が注目される。

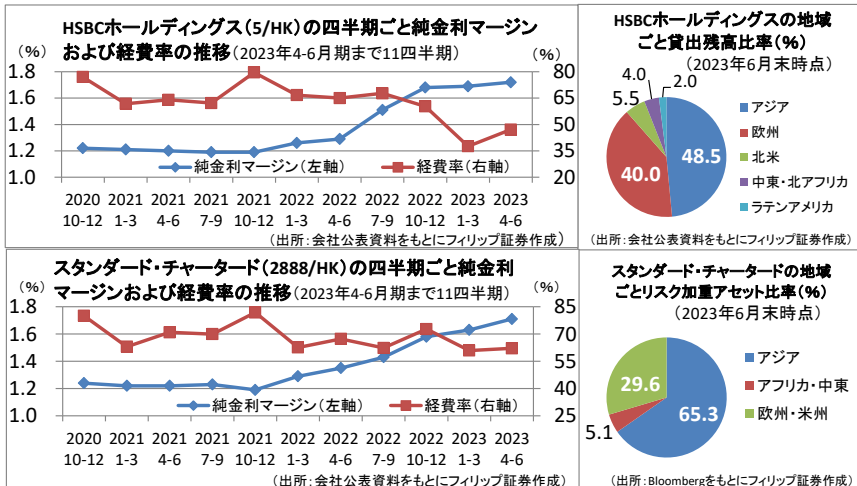
3日に中央銀行による政策金利発表が予定される英国では、前回(6/22)の金融政策委員会(MPC)で0.5%ポイントに利上げ幅が拡大され政策金利が5.0%に達した。今回も0.25%ポイントの利上げが有力視されているものの、利上げサイクルの最終局面となるのではないかと期待も台頭している。他方、6月のCPI上昇率が前年同月比6.9%上昇と他の欧米先進国と比べて水準が高く、10年国債利回りが昨年10月の水準を足元で上回るなど、債券市場では利上げ打ち止め感が出ていない。



”HSBC(香港上海銀行)とスタンダードチャータードに注目“

香港上場の銀行株の中で、香港ドルの発券銀行の地位を占める香港上海銀行およびスタンダード・チャータード銀行を傘下に擁する銀行グループはそれぞれ、HSBCホールディングス(5/HK)、およびスタンダードチャータード(2888/HK)である。いずれも英ロンドンに本拠地を置き、香港・中国を中心としたアジア、および英国を中心とした欧州を主要エリアとして事業展開。両行ともに預貸の利鞘である純金利マージンが四半期を追うごとに拡大しており、英国における金融引き締めサイクルの打ち止めが遅れるほど業績面では優位に働くとみられる。

両行のなかでは、貸出残高に占める欧州比率(うち約8割が英国)の高いHSBCの方が英国の金融引締めの恩恵を受けやすいとみられる。HSBCは今年3月、経営破綻した米シリコンバレーバンク(SVB)の英法人を1ポンドで買収。更に、当初は売却で合意していたフランスのリテール事業の売却取りやめに伴う減損損失の戻し入れなどにより経費率が改善。市場予想の23年度配当利回りは7%台と高水準だ。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全94銘柄)における終値の昨年月末来騰落率

前回基準日: 20230718 基準日: 20230801

順位	2022年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位	
1	理想汽車	121.2	1
2	小鹏汽車	115.6	3
3	中国石油天然気 [ペトロチャイナ]	68.7	2
4	網易 [ネットイース]	51.1	4
5	蔚来汽車[ニオ]	49.2	24
6	比亞迪 [BYD]	43.4	5
7	HSBCホールディングス	42.7	6
8	联想集团 [レノボ・グループ]	42.4	7
9	百度 [バイドゥ]	36.3	9
10	中国海洋石油 [CNOOC]	35.8	8

順位	2022年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位	
94	CG SERVICES (碧桂園服務)	-56.0	94
93	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-45.3	92
92	万国数視服務 [GDSホールディングス]	-37.7	91
91	李寧[リーニン]	-32.4	90
90	Ming Yuan Cloud Group Holdin (明源雲)	-31.6	93
89	中升控股 [フォンサン・グループ・ホールディングス]	-30.7	84
88	JDドットコム	-27.1	89
87	葉明生物技術[ウーシー・バイオロジクス・ケイマン]	-25.5	85
86	Budweiser Brewing Co APAC Lt	-22.8	79
85	恒隆地産 [ハンロン・プロパティーズ]	-22.7	77

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2023年7・8月中国主要経済指標】

- 7月20日(木)
 - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.55%、結果3.55%
 - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.20%、結果4.20%
- 7月27日(木)
 - ・1-6月工業利益: 前回▲18.8%、結果▲16.8%
- 7月31日(月)
 - ・7月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0、結果49.3
 - ・7月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回53.2、結果51.5
- 8月1日(火)
 - ・7月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.5、結果49.2
- 8月3日(木)
 - ・7月(財新)サービス部門PMI: 前回53.9
- 8月7日(月)
 - ・7月外貨準備高: 前回3.19兆USD
- 8月8日(火)
 - ・7月貿易収支: 前回+706.2億USD
 - ・7月輸出<前年同月比>: 前回▲12.4%
 - ・7月輸入<前年同月比>: 前回▲6.8%
- 8月9日(水)
 - ・7月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回0.0%
 - ・7月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲5.4%
- 8月9日(水)～15日(火)
 - ・7月資金調達総額: 前回4.22兆元
 - ・7月新規人民元建て融資: 前回3.05兆元
 - ・7月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+11.3%
- 8月15日(火)
 - ・7月小売売上高<前年同月比>: 前回+3.1%
 - ・7月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+4.4%
 - ・1-7月固定資産投資<前年同月比>: 前回+3.8%
 - ・1-7月不動産投資<前年同月比>: 前回▲7.9%
 - ・7月調査失業率: 前回5.2%
- 8月16日(水)
 - ・7月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.06%

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。